

平成28年度

消防委員会（第1回）会議結果

1 開催日時 平成28年6月14日（火）午後3時30分～午後5時15分

2 開催場所 成田市花崎町760番地
成田市消防本部 B101会議室

3 出席者
消防委員

大木 邦男、北崎 清志、一鍬田 俊樹、佐藤 弘、鈴木 由治、椿 孝司
朽木 茜、梅澤 秀夫、京須 與一、小泉 町子、秋山 恒男

11名

消防本部

消防長（山下 昌起）、次長（大谷 昌利）
消防総務課長（大野 勝也）、予防課長（伊能 弘）
警防課長（鈴木 郁雄）、指揮指令課長（宮内 勝）
成田消防署長（八木 正道）、赤坂消防署長（大木 昭二）
三里塚消防署長（渡辺 文明）、大栄消防署長（小川 晴夫）

10名

消防団

団長（村島 義則）、副団長（湯浅 雅明）、副団長（岩立 一郎）、副団長（藤崎 和彦）

4名

事務局

消防総務課長補佐（青野 穰）、消防総務課総務人事係長（藤崎 伸幸）
消防総務課副主査（久保木 章智）

3名

4 議事（要旨）

報告第1号 平成28年度事業計画について

平成28年度における年間事業計画について、事務局より報告を行った。

報告第2号 平成28年度各課・各署主要事業について

別添資料に基づいて各課長・署長が報告を行った。報告後に委員から挙げた質問及び回答については次のとおり。

【質疑等】

質問：水槽車の車両更新について、ミッションがマニュアルとなっているが、オートマチックにはならないのか。

回答：マニュアル車とオートマチック車の両方を導入していますが、大型車のオ

ートマチック車は故障した際の修理費が高くなりますので、今後の大型車の更新はマニュアル車を予定しています。

質問：大規模な災害や特殊な災害は発生しているか。

回答：今年度は現在まで発生していませんが、昨年の被害額が大きい火災として航空機火災で約3億円の損害が発生しました。

質問：C B R N E 災害とはどのような災害か。

回答：C (化学剤)・B (生物剤)・R (放射性物質)・N (核)・E (爆発物) による特殊災害のことを言います。

報告第3号 消防救助技術千葉県大会結果について

平成28年6月2日千葉県消防学校で行われた消防救助技術千葉県大会の結果について報告を行った。

報告第4号 第26回危険業務従事者叙勲 受章報告

第26回危険業務従事者叙勲受章者について報告を行った。

5 その他

(1) 女性消防団員について、事務局より説明を行った。

(2) 建設予定の三里塚消防署庁舎について、事務局より説明を行った。

(3) 平成28年度成田市消防委員会視察研修について、事務局より説明を行った。

(4) その他、委員から出た質疑等は次のとおり。

質問：太陽光発電施設での火災時の対応はどのようになっているか。

回答：太陽光発電施設においては、火災時に周囲への延焼の危険性が低いことや安全装置が作動することから、太陽光発電が屋根にある住宅の建物火災の対策を優先しています。具体的な対策として、太陽光が当たると発電を継続しますので、太陽光パネルを覆うシートを配備しています。

委員長：太陽光発電施設の火災における活動は感電等の危険が伴うので、消防団とも情報共有して、対策にあたっていただきたい。

質問：平成27年度第2回消防委員会でも質問に挙げたが、圏央道が開通した周辺の遊水地は火災の時に消防水利として使えるのか。

回答：圏央道の沿線に16か所の遊水地がありますが、水位が低く取水できない状況です。東日本高速道路株式会社に確認したところ、一時的に遊水を溜めるためのもので、数日で渴水する設計になっているとのことでした。

周辺の火災の際に水量がある場合は、緊急水利として使用することは可能であります。

委員長：水利の確保については、消防団とも情報共有していただきたい。

6 傍聴者
0人

7 次回開催日時（予定）
平成28年12月